



# 富山アラート再延長！！ 新型コロナウイルス感染症

令和4年8月24日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和4年第33週分・8月15日～8月21日)

### 《インフォメーション》

#### ●新型コロナウイルス感染症

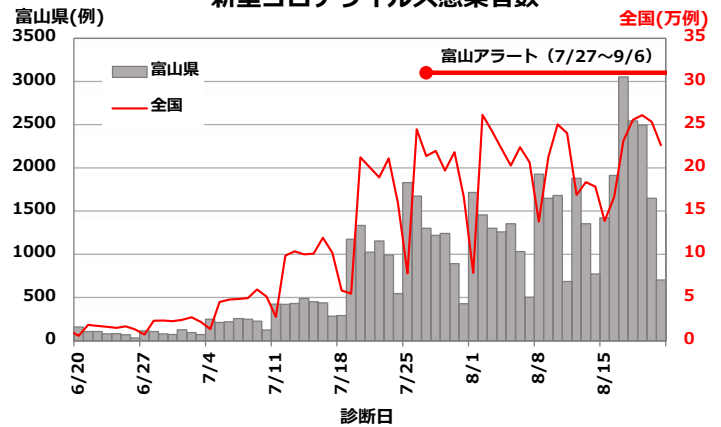
国内の新型コロナウイルス感染者数は、8月21日時点で17,139,528例となり、37,008例の死亡が確認されています。全国の感染者数は、お盆明け以降1日25万人前後の報告が続いています(図;折れ線グラフ)。また、8月17日時点でほとんどの都道府県において病床使用率は50%を超え、医療提供体制が逼迫した状況です。

県内では、今週の感染者数は13,773例であり、先週(9,947例)より更に増加し、過去最多の感染者数となりました(図;棒グラフ)。感染拡大に伴い、高齢者施設でのクラスターが増加しています。また、病床使用率は54%(8月22日10時時点)となり、医療機関の逼迫度も高まっています。こうした状況から、県は新型コロナ感染拡大警報(富山アラート)を9月6日まで再延長することとしました。

ウイルスゲノム解析について、8月1日～5日採取検体のBA.5系統の割合は8割を超えました([https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department2/covid19\\_1452r.html](https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department2/covid19_1452r.html))。全国的な傾向と同様、本県でもBA.2からBA.5系統への置き換わりが進んでいます。

更なる感染拡大の防止のため、基本的な感染対策(手指消毒、正しいマスクの着用、十分な換気、対人距離を保つこと)の継続が必要です。熱、のどの痛み等の症状がある場合は外出を控え、医療機関に連絡のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691)にご連絡ください。県は新型コロナウイルス感染症に感染された方について、感染確認から療養までの流れをホームページにまとめています(<https://www.pref.toyama.jp/120507/727kansen.html>)。感染されていない方も事前に確認し、いざという時に備えましょう。また、ワクチン接種を受けられない方、感染している可能性に不安を抱える方などを対象に8月31日までPCR等検査無料化事業が実施されています。県内一部の店舗では早朝検査も実施しています。詳しい内容は県HP(<https://www.pref.toyama.jp/1103/20211227pcr.html>)よりご確認ください。

### 新型コロナウイルス感染者数



### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 13,773件(暫定値)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件(①10歳代、男性、O103、VT1  
②30歳代、男性、O157、VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 2件(①第32週診断分:60歳代、男性、肺炎型  
②80歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 急性脳炎 1件(第32週診断分:40歳代、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	2.45(→)	2.45
2位	感染性胃腸炎	2.17(↑)	1.24
3位	RSウイルス感染症	0.28(↓)	0.52
	ヘルパンギーナ	0.28(↓)	0.55
5位	突発性発しん	0.17(↑)	0.14
6位	流行性角結膜炎	0.14(↑)	0.00

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第33週 令和4年8月15日～令和4年8月21日）

分類	疾患	今週報告分（第33週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1,372	1,023	4,354	1,648	5,322 <sup>※1</sup>	54	13,773	7,824	6,942	26,283	9,181	36,954 <sup>※1</sup>	359	87,543
二類感染症	結核								1	5	25	8	27		66
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症				1	1		2	2	1	4	1	9		17
四類感染症	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症				1			1	3		9	5	11		28
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3
	ウイルス性肝炎										3				3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4	2	6		12
	急性脳炎										3				3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								3		5		7		15
	後天性免疫不全症候群												1		1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		4		5
	侵襲性肺炎球菌感染症										2		4		6
	水痘（入院例）										1			2	3
	梅毒									2		8	3	20	33
	播種性クリプトコックス症												3		3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症			5		3		8	30	27	293	57	294		701
	咽頭結膜熱	1			2			3	50	35	155	12	115		367
		0.25			0.50			0.10							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					1		1	29	10	103	22	172		336
						0.10		0.03							
	感染性胃腸炎	11	6	11	3	32		63	605	604	1,634	588	1,906		5,337
		2.75	2.00	1.38	0.75	3.20		2.17							
	水痘								2	9	38	1	27		77
	手足口病	9	5	23	1	33		71	31	118	405	31	245		830
		2.25	1.67	2.88	0.25	3.30		2.45							
	伝染性紅斑		1					1	1	1	4	1	5		12
			0.33					0.03							
	突発性発しん			4		1		5	20	24	106	28	88		266
				0.50		0.10		0.17							
ヘルパンギーナ	2	3	3				8	63	94	45	4	26		232	
	0.50	1.00	0.38				0.28								
流行性耳下腺炎								1		5	3	1		10	
流行性角結膜炎	1						1	10	4	7				21	
	1.00						0.14								
細菌性髄膜炎										1		1		2	
マイコプラズマ肺炎											1			1	
インフルエンザによる入院患者（※3）										1		3	1	5	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。  
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。